

日本ソーシャル・イノベーション学会
第4回（2022年度）年次大会 研究発表等 募集要項

2022年11月26日(土)～27日(日)に同志社大学とオンラインで開催予定の「第4回（2022年度）年次大会」で実施する研究発表等について、以下のとおり募集を行います。

本大会では、従来のソーシャル・イノベーションに関連する研究発表に加え、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大等によって様々な分野で新たな枠組みや社会システムが求められている中で、その実態把握や課題解決に向けた萌芽的な取り組みや先進事例に関する報告・発表なども歓迎いたします。

1. 発表資格

【A：研究・実践報告（論文付き発表）】

2022年度分の本学会会費を納付した正学会員であること

（複数による応募の場合、そのうち1名以上が上記の要件を満たしていること）

※ 発表当日までに会費を納入ください。確認できない場合は発表できませんので、ご留意ください。

【B：研究・実践スライド発表（論文不要）】

会員拡大キャンペーンとして今回の年次大会については、学部生、大学院生の場合、本学会の正学会員でなくても「研究・実践スライド発表」に応募できることとします。

2. 発表区分

【A：研究・実践報告（論文付き発表）】

（11月26日(土) 14時～15時30分。発表数が多い場合、27日(日) 13時～14時30分も実施）

ソーシャル・イノベーションに関連する理論や実証研究、事例研究などについて、事前に「報告要旨（1,000字程度）」（9月15日提出締切）と「報告論文（5,000～10,000字程度）」（11月5日提出締切）を提出の上、当日は会場でのプレゼンとオンラインのハイブリッドによる発表（発表20分、質疑10分）を行う区分です。なお、発表申請が共通のテーマに関連するものと認められ、事前審査を通った発表については、時間を連続して報告できるよう調整いたします。

【B：研究・実践スライド発表（論文不要）】

（11月27日（日）13時～14時30分）

ソーシャル・イノベーションに関連する理論や実証研究、事例報告などについて、「発表要旨（1,000字程度）」（9月30日提出締切）を提出の上、11月5日までにスライドデータ（PDF形式もしくはPowerPointなどのスライド形式）を提出の上で、当日は会場で

のプレゼンとオンラインのハイブリッドによる発表（発表 15 分、質疑 10 分）を行う区分です。なお、報告論文の提出は必要ありません。

3. 採否に関して

【A：研究・実践報告】は申し込み時に提出いただいた「報告要旨」をもとに、実行委員会において審査（採用・条件付採用・不採用）を行います。

なお、審査基準は以下の通りです。

- ①本学会の趣旨・目的に見合っているか
- ②内容および論理展開に妥当性と一貫性があるか
- ③倫理的な問題がないか

【B：研究・実践スライド発表（論文不要）】は原則として審査は行いませんが、とりわけテーマの妥当性や倫理上の問題があると判断される場合には取り下げや修正を求めることがあります。

4. 当日までのスケジュール

【A：研究・実践報告（論文必要）】

1. 申込書・報告要旨の提出	提出期限：9月1日（木）→15日（木） まで延長
（採否の通知）	9月15日（木）（ただし、9月2日以降の 応募分は9月29日（木））
2. 報告要旨（修正稿）の提出	提出期限：10月14日（金）
3. 報告論文の提出	提出期限：11月5日（土）
（専用サイトでの公開）	11月13日（日）～12月4日（日）
4. 口頭発表と質疑 （会場発表とオンライン）	11月26日（土） ※発表数が多い場合、27日（日）も実施

【B：研究・実践スライド発表（論文不要）】

1. 申込書の提出	提出期限：9月1日（火）→30日（金） まで延長
2. 発表データの提出	提出期限：11月5日（土）
（専用サイトでの公開）	11月13日（火）～12月4日（日）
3. 口頭発表と質疑 （会場発表とオンライン）	11月27日（日）

5. 提出書類の作成要領

【A：研究・実践報告】

報告要旨

- (1) 内容・・・「題名（副題を含む）」・「発表者名（所属）」・「報告の概要（取り上げるテーマ

や手法、主たる結論など)」で構成すること

(2) 文字数…1000 字程度

(3) 書式…Word 文書 (.docx)、A4 (縦) 1 枚

(4) ページ設定およびレイアウト…下記テンプレートを参照

※ 提出いただいた「報告要旨」は大会資料 (報告要旨集) に収録されます。

報告論文

(1) 内容…「表紙」「本文 (参考文献を含む)」で構成すること

① 表紙—「題名 (副題を含む)」「発表者名 (所属)」「要旨 (500 文字程度)」「キーワード (3 つまで)」

② 本文— 研究の背景や問題意識、目的、方法、結果、考察、参考文献など

(2) 文字数…5,000~10,000 字程度

(3) 書式…Word 文書 (.docx)、A4 (縦) に横書き

(4) ページ設定およびレイアウト…下記「テンプレート」を参照

(5) そのほかの書式 (図表や注釈の挿入方法など) については、各々の学問領域の書式に準じてよいものとする。

※ 提出いただいた「報告論文」は大会参加者に向けた専用サイトで一時公開されます。

(公開期間 11 月 13 日~12 月 4 日)

【B : 研究・実践スライド発表】

(1) 内容…「題名 (副題含む)」「発表者名 (所属)」を 1 ページ目に示し、2 ページ目以降で、発表内容を記述すること

※ 「発表内容」の書式は基本的に自由としますが、発表の趣旨・目的のほか、取り上げる対象や事例の概要、調査結果や考察等が示されることを求めます。

(2) ページ設定およびレイアウト…下記テンプレートを参照

(3) 発表データの提出形式…PDF 形式、または PowerPoint などのスライドデータ

使用するソフトの選択は自由です。提出時にはスライドデータか PDF 形式に変換したものを提供願います (通信障害時の代替操作のため)。

※ 提出いただいた PDF は大会参加者に向けた専用サイトで一時公開されます。

(公開期間 11 月 13 日~12 月 4 日)

6. 応募方法

発表の申し込みおよび提出書類の提出 (入稿) は E-mail で受け付けます。

提出書類に関しては、下記の応募フォームおよびテンプレートをダウンロードし、必要事項を記入の上、大会実行委員会事務局「sitaikai2022@gmail.com」までご送付ください。なお、各提出書類のファイル名には必ず「発表者名 (代表)」を追記してください。

(応募フォームおよびテンプレート)

【A：研究・実践報告】 申込書 報告要旨 報告論文
【B：研究・実践スライド発表】 申込書 パワーポイントなどスライドデータ、または PDF

なお、視覚障害者への情報保障のため、ファイルのアクセシビリティにご配慮ください。
Office の製品にはアクセシビリティチェック機能がありますのでそれをお使いになること
をお勧めします。

PDF であれば、Word から PDF を作成する際、次のオプションをつけてください。

[名前を付けて保存]ダイアログボックスで、[オプション]を選択します。

[アクセシビリティ用のドキュメント構造タグ]チェックボックスをオンにし、[OK]を選択
します。

7. その他

新型コロナウイルス感染症拡大の影響など、不測の事態によって、スケジュール等に変更が生じる可能性があります。変更があった場合は、学会ウェブサイトおよび発表者の連絡先等を活用して、その都度ご案内いたします。

8. 問い合わせ先

日本ソーシャル・イノベーション学会
第4回（2022）年次大会実行委員会事務局
E-mail : sitaikai2022@gmail.com

以上

【参考：年次大会のプログラム（今後、細部で変更の可能性があります）】

1 日目（11月26日・土）寒梅館とオンライン

13:00	開場
13:30-13:50	1.（全体会）開会＋チェックイン（20分）
13:50-14:00	休憩（10分）
14:00-15:30	2.（分散会）「研究・実践報告」の発表（90分）
15:30-15:45	休憩（15分）
15:45-16:45	3.（分散会）「研究・実践報告」の発表（60分）

16:45-17:00 休憩 (15分)
17:00-17:40 4. (全体会) 国内セッション (40分)
17:40-18:00 休憩 (20分)
18:00-19:30 5. (全体会) 国際セッション：基調講演 (90分)
19:30 終了

2日目 (11月27日・日) 寒梅館とオンライン

09:30-11:00 6. (分散会) 分科会 (90分)
11:00-11:15 休憩 (15分)
11:15-11:45 7. (全体会) ラップアップ
11:45-12:45 休憩、昼食 (60分)
12:45-14:25 8. (分散会) 「研究・実践スライド発表」の発表 (90分)
14:25-14:45 休憩 (20分)
14:45-15:15 9. (次回大会に向けて) チェックアウト+閉会 (30分)
15:15 終了